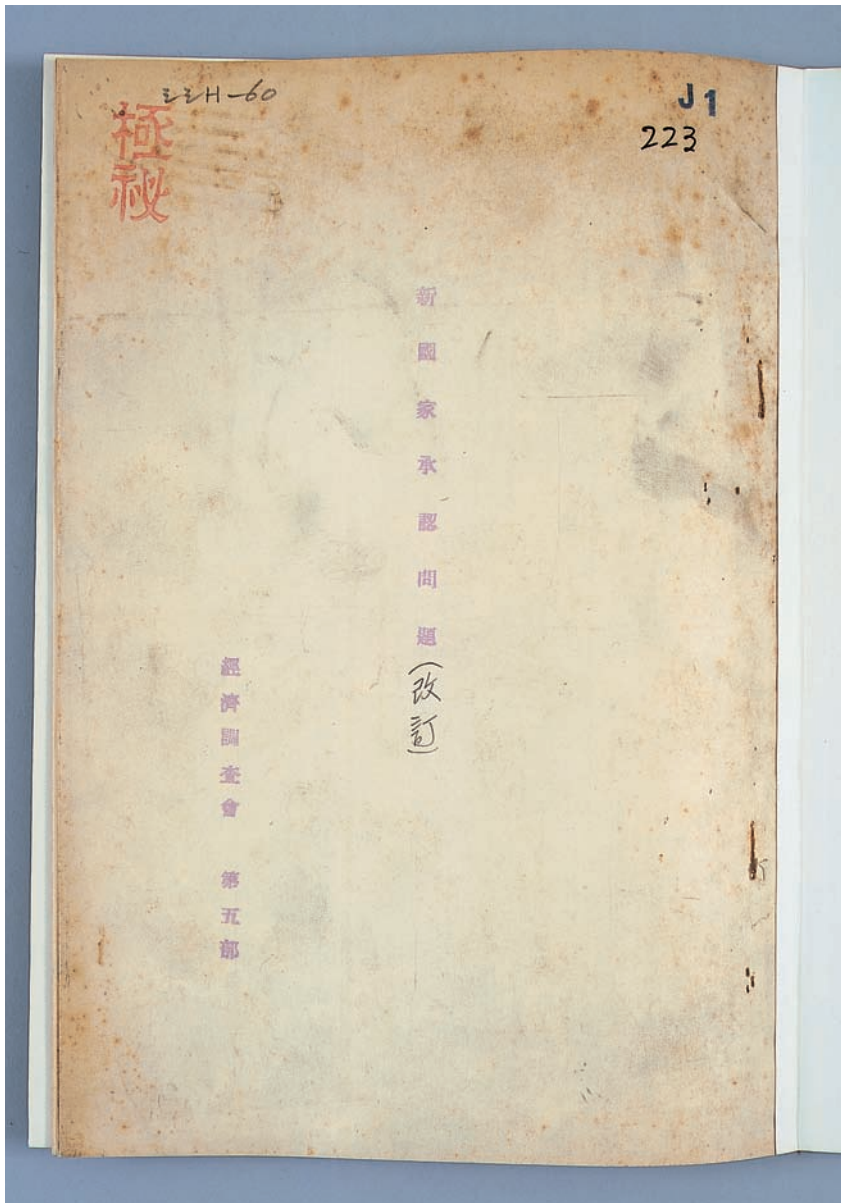
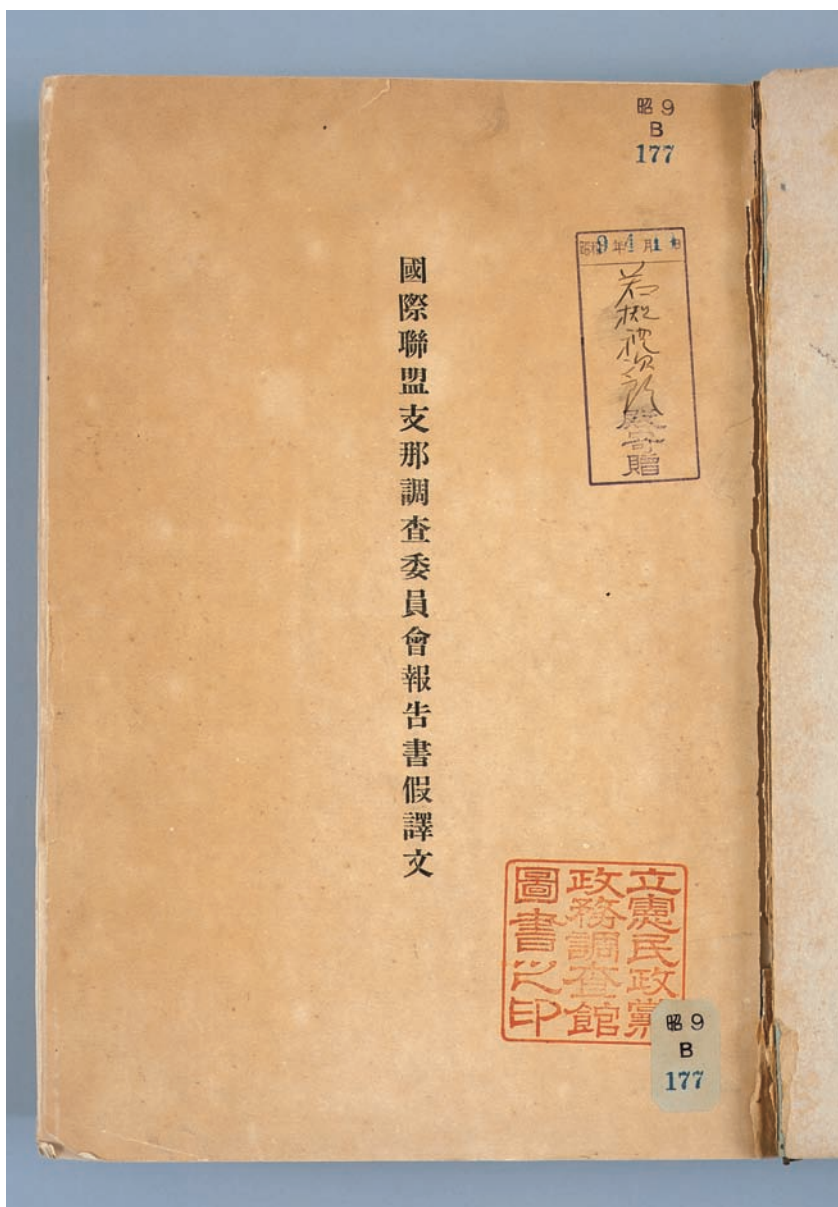


口絵1 『満蒙ニ於ケル電力資源ト其經濟的考察』（当館請求記号 540.9222-M494m）
満鉄は設立以来満洲の資源について詳細な調査を行っていた。本書はその一例。



口絵2 『新国家承認問題 (改訂)』 (当館請求記号 A76-121)

「満洲国」の国際的承認についての資料。関東軍の依頼により作成されたものであろう。



口絵3 『國際聯盟支那調查委員會報告書假訳文』（当館請求記号GE326-44）
リットン調査団報告書の非公式の外務省訳。満鉄資料ではないが、満鉄や満洲国に
関わりのある重要資料で、満洲事変時に首相だった若槻礼次郎の旧蔵資料である。

32671



保一 1070'6
丙資分 130
印一 100

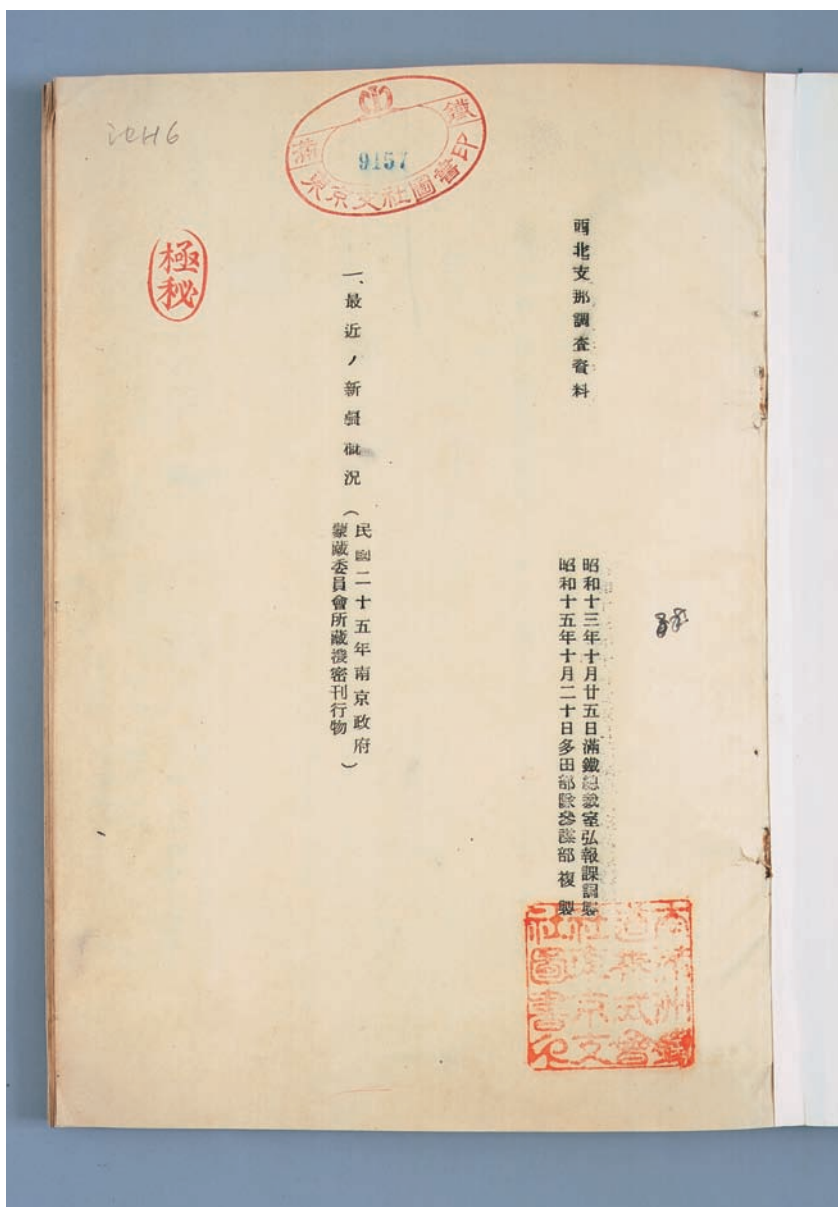
昭和十年六月
(東京經濟調查會三五第一三號)

昭和十年度
民國國視察報告書
(神田正雄氏報告)

滿鐵經濟調查會

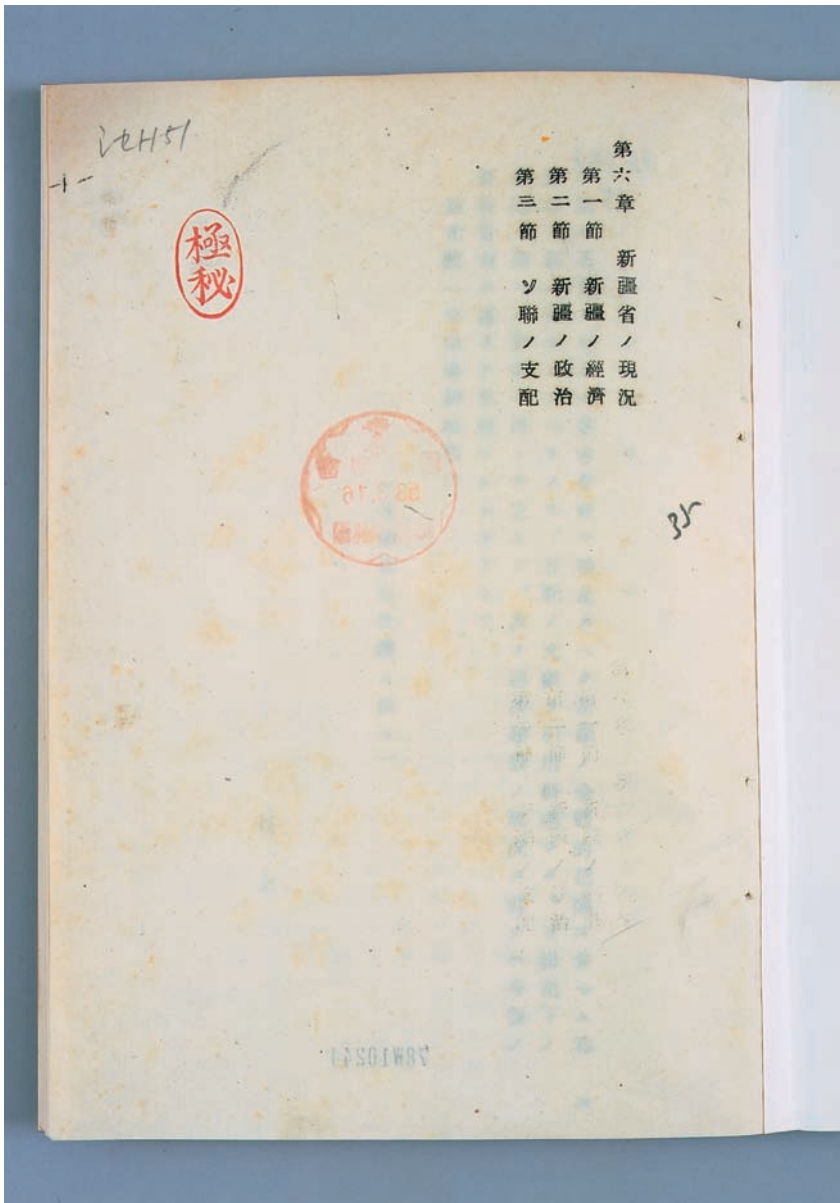
口絵4 『昭和十年度民国視察報告書』(当館請求記号 GE326-45)

中国研究家として知られる神田正雄の現地報告書。



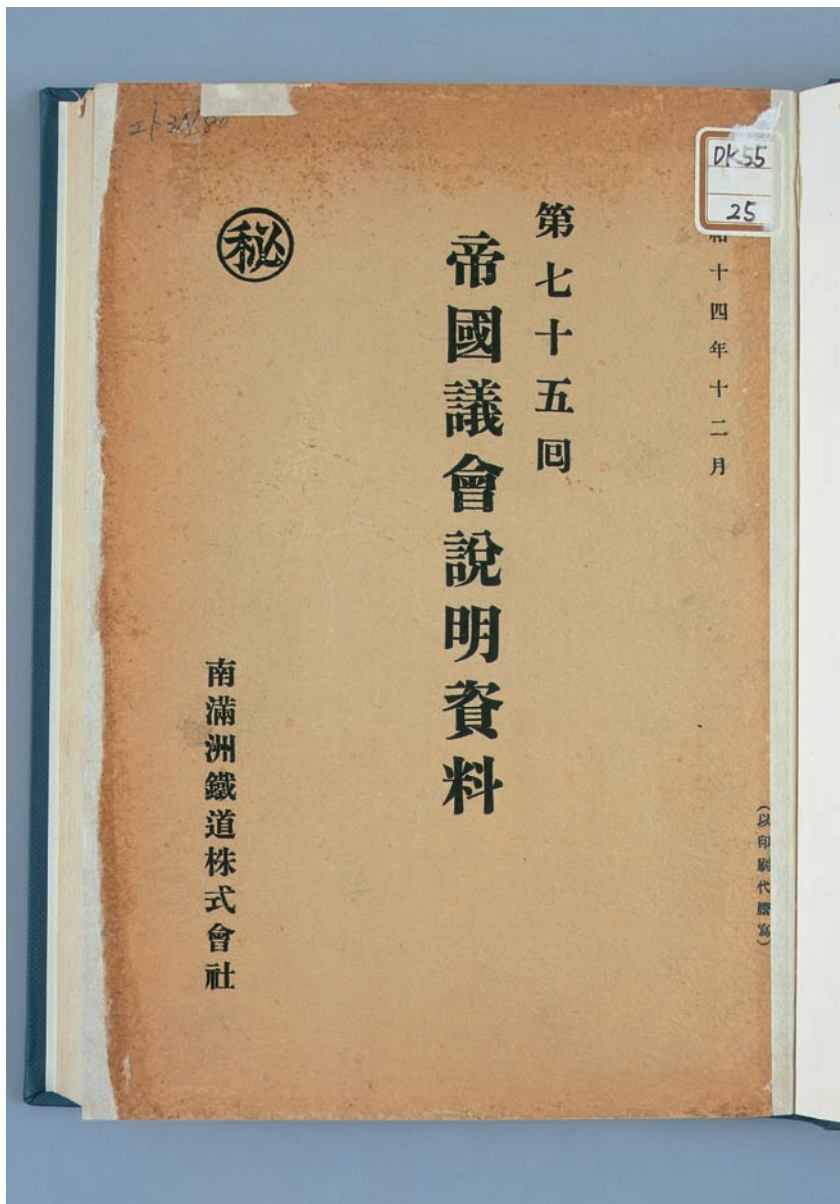
口絵5 『最近ノ新疆概況』(当館請求記号 GE389-17)

中華民国政府の秘密印刷物の邦訳。南京陥落時に入手した中国語原本を邦訳したもののか。



口絵6 『新疆省ノ現況』(当館請求記号 GE389-15)

新疆に関する秘密参考資料の一部分。その受入記録及び体裁から満鉄資料と推定される。



口絵7 『第七十五回帝國議會說明資料』（当館請求記号 DK55-25）

滿鉄は半官半民の国策会社であり、帝國議會に対する説明の義務があった。

29 P 39

秘

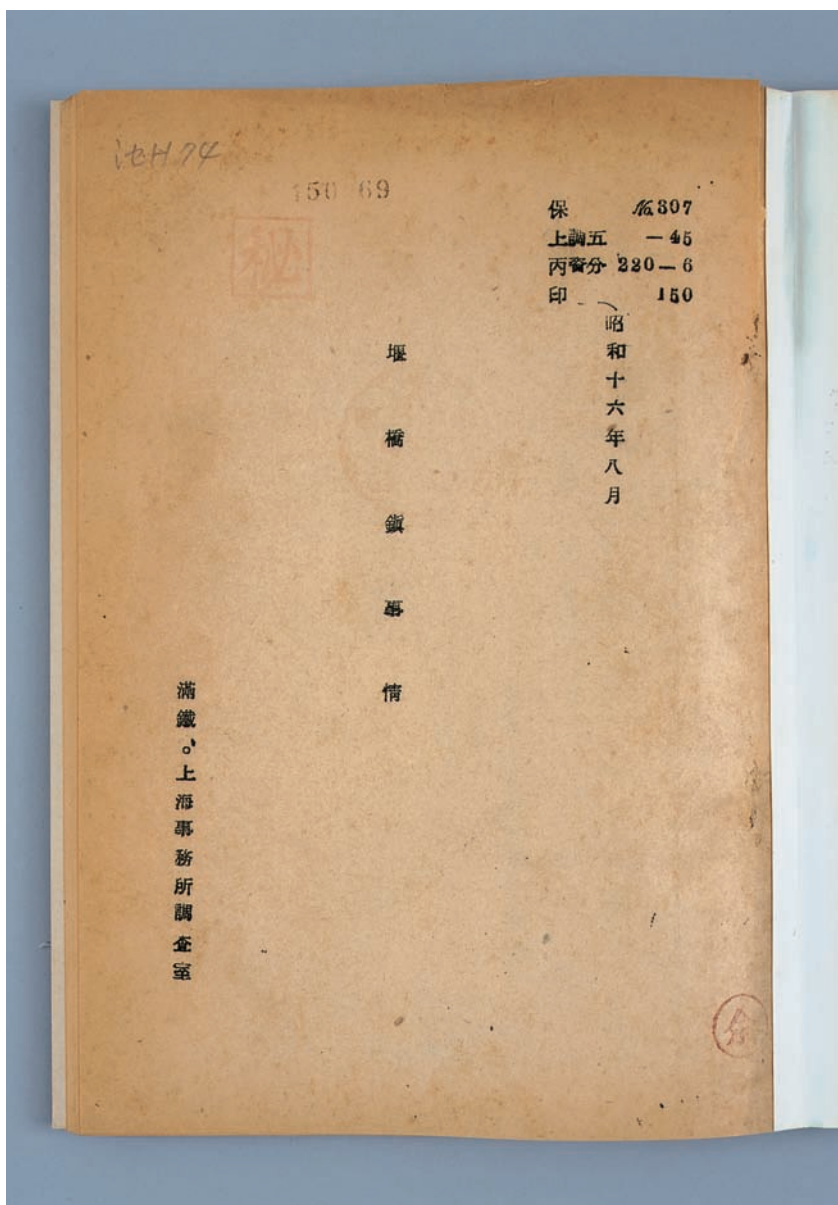
29

我力南進政策ヲ繞ル馬來ノ政治經濟動向

世界情勢調査委員會
昭和十六年度第一回報告
(第三部資料篇(二)ノ六)

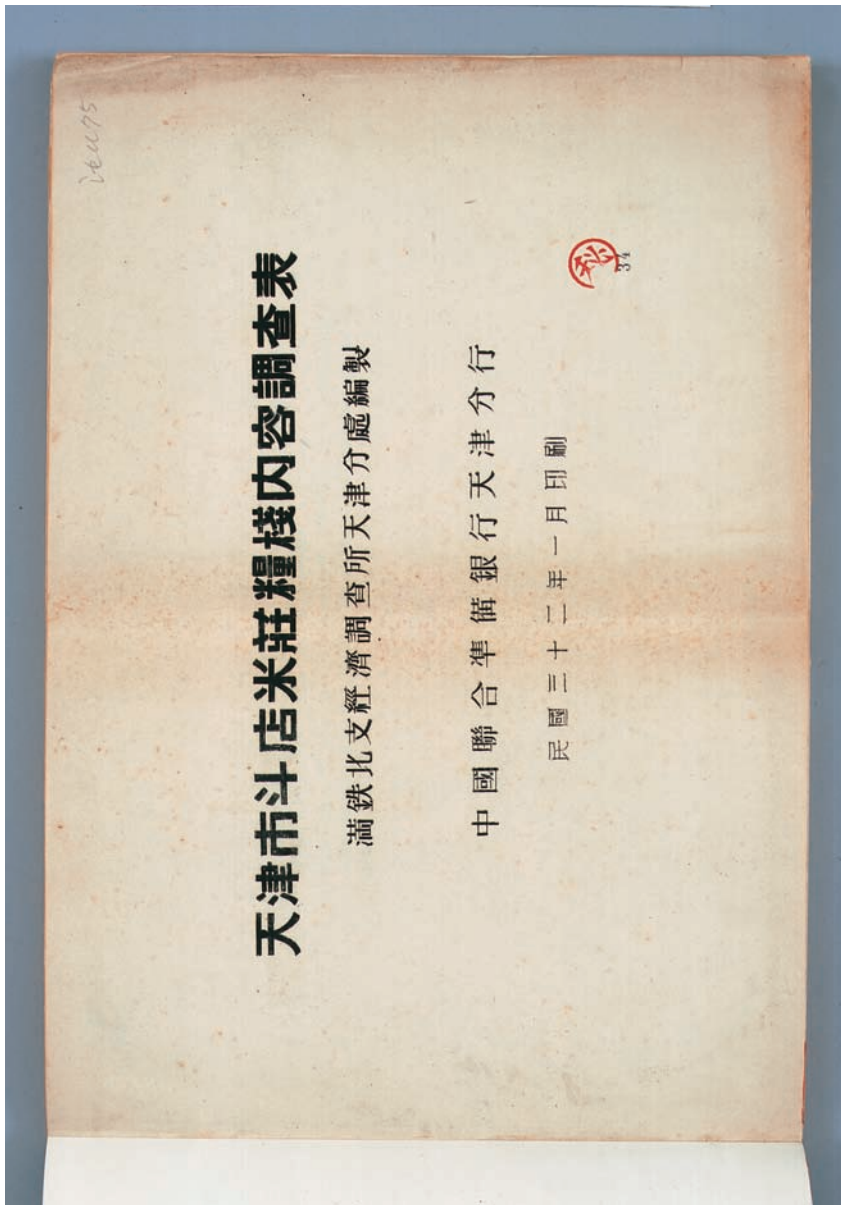
滿鐵調查部

口絵8 『我力南進政策ヲ繞ル馬來ノ政治經濟動向』(当館請求記号 A76-124)
滿鐵が東南アジアに駐在員を置いて情報活動を行っていたことを示す一資料。



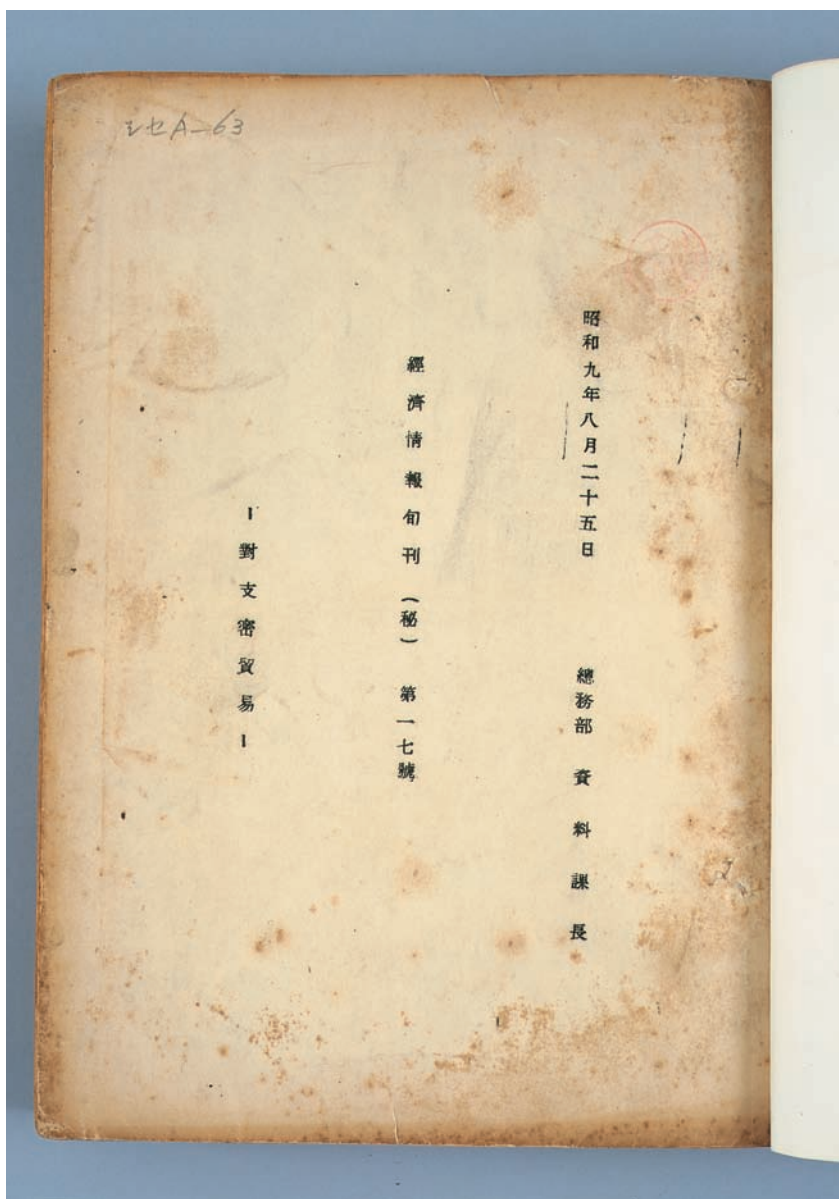
口絵9 『堰橋鎮事情』(当館請求記号 GE394-2)

江蘇省の交通の要所である堰橋鎮の調査報告。上海から南京への途上にある。



口絵10 『天津市斗店米莊糧棧內容調查表』(当館請求記号 YQ2-634)

天津における食糧流通業者に関する秘密報告書。



口絵11 『経済情報旬刊』第17号（当館請求記号 Z3-1351）

中国の密貿易に関する報告。密貿易の場所及び品目が垣間見える。

大連港ニヨル對支密貿易ノ狀況

〔關東軍委設部報昭和九八三四號當報第七八號〕

「註」本報告ハ大連三井物産支店長ノ調査ニ係ルモノニシテ連年ニ亘ル支那本土ノ排日貨ニ拘ラス大連ヲ中心トシテ我克ニ依ル對支密貿易ハ頗ル旺ニシテ殊ニ排日的高關稅ノ設置セラレル毎ニ愈之ヲ促進シ其ノ活躍目醒マシキモノアリテ大連市況ヲ左右シツツアリ

（關東軍記）

對支密輸貿易ニ付自由港大連ヲ足溜リトシテ我克ニ依ル對支密輸貿易カ幾何程ニ行ハレオルカニ付取調方御申出ノ趣拜誦仕候

密輸貿易ノ數量ハ之ヲ統計的ニ調査スルコトハ其ノ性質上困難ニ有之候然ルニ昨年八月十八日大連稅關豫納金制度（大連出港ノ際輸入稅ノ半額ヲ豫納セシメ仕向地ノ納稅證ヲ提出シタル時拂戻ス）廢止ノ結果我克貿易ハ大連出港ノ際何等ノ拘束ヲ受ケサルコトトナリ從來ノ如ク密輸出ノ舉ニ出ル必要無クナリタル爲爾來大連我克貿易ノ輸出申告ハ殆ト實際ト一致シタル數字ヲ示スニ至リタルヲ以テ八月十八日ヲ境界トシ其ノ前後

20

口絵12 『經濟情報旬刊』第17号（当館請求記号 Z3-1351）の内p.20

三井物産（財閥解体の前）を始め、各種の企業及び団体が満鉄の情報活動に協力していた図式がうかがえる。

極秘



No. 1324

昭和 15 年 4 月 分

機關車運轉統計月報

南滿洲鐵道株式會社
鐵道總局

72

口絵 13 『機關車運轉統計月報』昭和 15 年 4 月分（当館請求記号 Z3-1324）
滿鐵の根幹を成していた鐵道事業についての基本資料。

池A2

秘

九六號（昭和十五年四月一日）

資

- 一 料 旬報
- 二 雜誌重要記事
- 三 河北省ノ財政（縣財政ヲ含ム）
- 資料紹介「内蒙特ニ「國才ル」ス」ニ關スル文献抄



滿鐵。北支經濟調查所資料班

口絵 14 『滿鐵北支經濟調查所資料旬報』 96号（当館請求記号 Z3-1427）

日本占領下の北部中国で經濟調査を行った滿鐵北支經濟調查所が収集した資料の目録。